

富山県連 訪問 議事録

開催場所	富山商工会議所	日時：平成27年 6月16日（火） 18：00 ～ 19：30	
議事録	作成人	日本商工会議所青年部	日本ネットワーク委員会 委員 神林
	署名人	日本商工会議所青年部	日本ネットワーク委員会 副委員長 真木

次第

- ① 開会、次第、資料確認 ②出席者紹介（日本 YEG・連合会）③伴会長挨拶・日本 YEG についての説明 ④ 連合会の挨拶・連合会の事業等の説明 ⑤フリーディスカッション ⑥質疑応答 ⑦閉会

■伴会長挨拶

関東ブロック栃木県宇都宮 YEG から出向しています伴です。連時もないので私が進めていきたいと思えます。今日は貴重なお時間を頂きましてありがとうございます。昨年仲田会長が周られました。全部は周れませんが今年は県連の皆様と話をしていきたいと考えています。どうぞきたんのない意見を頂ければ。各単会で事業をしていると思えますが、この辺が特色なんだよとかあれば教えてください。色んな団体と大規模な事業をやっているや新規の事業をやっているなど。富山さんから。

富山：4年前に全国。40周年もやった。まちなかコンペディションをやっている。学生から意見を出してもらい15チーム県内外から。1000人規模の。プレゼンを5分やって上位を決める。そこで20万円の賞金を付けてイベントを企画してもらおう。富山まつりもやっている、市内では一番大きな祭りです。

伴：コンペは学校、商店街も？

富山：町の運営委員会と一緒にやっている。学校の先生達とも連携している。

伴：その他にありませんか？黒部さん

黒部：親会の商工フェアの盛り上げとして青年部からよさこいを集めている。今年で10周年。多い時で30チーム位。周年なので今年は2日開催。キッズダンスの大会も主催している。今年初めてだが、JCと一緒に力を合わせて祭りを企画している。

伴：キッズダンスなども全国でやっている。行政から街コンをやってくれという話も聞く。青年部で実行しているなんてありますか？

県連会長：県連に依頼が来ている。

伴：街コンはお金を出すからとよく聞きます。各団体と一緒に進めて行こうという話があるが、全国のトップ会談ということで青年部。JC、中央会、商工会でやった。5月7日に YEG 主体でやった。7月は商工会さんの主催で奈良。11月に JC さんの主催で金沢開催が企画されている。世界大会に合わせるのかも。3団体は時に一緒にやることがあるかと思うが、JA や漁協なんて交流はありますか？

魚津：ちょうろくまつりや地元のまつりがあるが、J C、Y E G、や他団体をまきこんでやっていた。3回目で色々あって今はJ CとY E Gが主体でやっている。集まりすぎると難しくもなるのかなと。

伴：各地で交流事業が多いと聞く。広げていこう、やっていこうと。J A、漁協などとやっているまち作りをやっていると。石川の玉津が海の近くということでやっていると聞いた。J Aとやりたいという所も聞く。J Aにも青年部のようなどころがある。

砺波：農業青年団体というのがあり、彼らが収穫したものを我々が売る事業をやっている。砺波は合併して10年。商工会と商工会議所も合併しようかとなったが出来なかった。同じ青年の団体なので今年から新しく商工会の中に委員会があり、Y E Gにも委員会があり一緒に委員会をやろうよと。5人ずつ出して予算も半分で。毎月委員会をやっている。事業をやろうよと。出来るように考えようとなっている。

伴：すごく珍しいケースですね。トップ会談でも一緒に何かやりたいという話になっている。商工会の県連会長とY E Gの県連会長が東京で懇親会をしたことがある。今年はJ Cともやりたい。同じ地域で商売をしているのに知合わないで終わる。知合いましょうよと。何かあったときに一緒にやりましょうとなっている。県連単位では出来ている所もある。栃木や茨城は40年前からやっている。地域差はあるかもしれないが、知り合うことは大事なこと。親会レベルではまだまだない。

県連会長：2、3年前から調印式はやっているがそれだけになっている。4団体で。商工会とでは黒部で商工会と青年部と去年の会長が県の会長が事業をやった。青年部レベルではよかったが親会レベルではどうしても火花が散ってしまったというのがある。

伴：法律の問題で商工会と商工会議所は合併が出来ない。市には商工会議所となっている。合併後の特例で残っている。ナーバスになる部分はある。

砺波：職員の給料も違うみたいですね。

伴：それは親会の話にしてほしいなと思いますね。親会がそんなに細かく動いているかというのと違う。青年部が動いているので動いている同士、何をしなければいけないという話をしていきたいと思いません。親会の話が出ましたがこの中で親会と問題があるところはありますか？

滑川：特に問題はない。僕自身が元職員だった。専務が上司、何かあれば言って来いと言われていた。問題は人数が少なく。県連の事業でも人の確保が難しい。まちでもJ Cと会員の取り合いになっている。

伴：親会と関係が良好という所は会頭が青年部のOBだという事が多い。今会頭は全国で100人位、副会頭で200~となっていると聞きます。兵庫で事務方が日本に入っていることに反対していると。日本Y E Gに加盟している必要があるのかと言っている。青年部が決める事。日商の三村会頭はもっとやれと言ってくれている。今年3年目になったが表敬訪問の際にお題を下さいと言ったら、今日聞いたことをどんどんやってくれと。富山は未加入、未設置がないが会頭は無いところがあるなんて信じられないと。日商から話をしようかとまで言われた。もし各単会で親会、県連でも日本として親会に働きかけていきたい。日本Y E Gがやれることをやっていきたい。要請があれば。話があればお伺

いします。中々こういった機会がないので代表理事、富山は県連会長も一緒なので皆さんにもっと事業をやってほしい。発信をして欲しいと。事業もそうだが各単会のメインになる事業があると思うが、代表理事にもそういった事業に参加してほしいといっている。広報誌で石垣もあるが、どんどん日本に発信してほしい。その他に日本YEGの事業にたいして要望はありますか？ビジネス系でも。

砺波：408仲田会長が周りでしたが、単会によって規模も違うし事業も違う。行政も大小がある。企画もそうだが、出来るチャンスがほしい。基金というか。企画だったり制作だったりをプレゼンする機会。アドバイスをする人だったり。地方でも大きな事が出来るような物が欲しい。

伴：YEG大賞もそうだがまた始めたらどうかとなっている。賞金ではないが実践するお金ですね。財政的な問題として日本も予算は少ない。このままだと展開していくには窮屈になっている、年間を通して日本YEGに対して資金を提供してもらえ環境を作れないかなと考えている。企業協賛も。トヨタでも例えばだが全国の販売店の人に事業に参加して貰うなど。宇都宮の全国大会ではプリウスを提供してもらった。トヨタのトップにも話は届いていると聞いている。色んな形で企業協賛やお金を集める事が出来ないかなと。BBCも賞金があったことがあった。今年は募金というより資金として使ってもらいたいということになっている。頂いた内容で進めたいと考えている。

高岡：408の時に意見、希望を言ったが、YEGという会の認知度が高くない。高岡でもYEGってなにと言われる。青年部会さんともいわれる。JCは小さくなっているが認知度はある。YEG=何かという誰でも認識できるようなものが欲しい。JCのわんぱく相撲のというイメージが全国的にある。単年度の事業としては難しいかもしれないが、YEGのステータスを上げるためにも欲しい。

伴：ありがとうございます。シンボルになるような事業は私も必要だと思います。わんぱく相撲は東京JCさん発祥の事業なんですね。名前はついてきていますね。横綱が出ているしね。YEGとしては風会議が全国的な事業にはなっていますが、もっと名前が通るようなものがあるといいですね。

高岡：YEGの中ではいいが外部的にですよね。

伴：一般の方には商工会議所という縁がないと思ってしまうんですね。ある程度の規模の商売や三村会頭ももっと地域をといっていますのでYEGも地域に特化した事業をこれからも企画していきたいと思います。今事業をやっていますが、富山は全国もやっていますがどんどん参加してほしい。過去、富山の夏の役員会で宇都宮も承認を頂いた。全国大会も色々ある。こんな大会にした欲しいなど。京都の実行委員長もいますし、岡山大会の大会会長も委員会の委員長としています。会長研修会の委員長もいます。日程やその他ご意見はありますか？京都、沖縄が日程の変更があった。善し悪しがあると言われていたが。

魚津：雪を利用して何かしようかとなっていたが、交通が問題になるとだめ。

伴：来年は岩見沢。雪の深い所になりますね。

高岡：氷点下25~30度になった。先輩の話。宿から出たらだめとなった。20年前の先輩の話。たまにキャパを越えたような大会がある。それもどうなのかなと。高岡でのブロック大会もそうだが。来た

人に失礼では。

伴：輪番制だったり、各地をまわるというYEGの中での兼ね合いだと思う。昨年よりもまちの規模がとか過去最高登録のブロック大会だったとか。その土地で頑張って精一杯やっていたら見ていけばわかると。それでいいんじゃないかと思う。周りがどうフォローしていけるかも大事だが、そこら辺は難しい話だなと思いますね。日本の各地を回って。全国各地から会長が排出されることも重要な事なのかなと思います。どっちがとは私も言えないが日本全体としてフォローしていきたい。岩見沢もひとつの試金石になるのでは。内田委員長も出向の際、毎回朝一で帰っている。全国各地から岩見沢に何時につくのかを計っている。雪の事も今調べている。岡山でも新しい試みとして7月の会議で4時間時間を取った。代表理事に全国のプレゼンを岡山がする。どんな大会をやりたいのか。代表理事に伝える。この時期にまだまだ決まっていなかったかもしれないが、そこから各道府県の単会メンバーに伝えて欲しいということで。会長研修会はどうでしょう？

熱意ある会員などは観光になってしまったりやることがなかったり。その土地との縁を感じられるようなものにしてほしい。浜松の時に一緒だった人たちが日本であつたりと、縁がある。

富山：年度によって。雰囲気も違うのかなと。会長研修会をしたいのか人数を集めたいのか。伴会長の思いをしっかりと落とし込んで伝わる者にしてほしい。

伴：全国のたくさんのメンバーに来てほしい。今年度の会長にも当然来てほしい。事務局も大事。分科会もある。事務局がもう一歩動いてくれたらという事が多々ある。事務局の研修は日商がしゃべってお終いになっている。各大会の事務局も紹介するようなことがあってもいい。もっと緊密になるかと。各大会ひねりを加えていきたい。

滑川：会長研修会は朝1でやるものですか？新発田は8時だった。

伴：比較的早いですが、エンディング等の関係で新発田は早くなった。通常は9時が多い。無理があつたと思う。大会を運営している所は思いがあつて詰め込んでしまう。日程の部分でご意見を頂けると嬉しい。ブロック大会でもいいが、富山は2回目ですか？

富山：相当昔ですよ。

高岡：うちは3回やっていますね。

黒部：最後の解団式の時に見なくていいもんだなんていう意識が高いような気がしています。すごい感動したのに。思いが詰まったものなのに。たくさんの人に見てもらえるようにした方がいいのでは。

伴：出向者の解団式なので入ってもいいのだがお声がけするのもね。実行委員長泣いてましたね。

黒部：こういう思いでやっているというのを感じられた。

伴：富山の全国大会の実行委員長のこんなやってきたのに雪かよと言った言葉を今でも覚えています。

黒部：それをみんなが見れるとこれが日本だよと言える。距離が縮まるのでは。理解も含めて。

伴：全体を通して

射水：新発田には事務局しか出席しなかったが、毎回出たいと言ってくれた。会長会議で全体の会員数分けがすごく良くて、同じ規模の単会の予定者と話ができたと。全国大会でもそういったマッチングなんてあるといいのでは。

伴：人数別は第一分科会でしたね。人数ごとに単会を割り振ったデータがある。この中で1年間を通して交流をもっているところもある。今までに周ったところでも言われたところがある。今後も動かさないでやっていきたいと思う。

富山：広島、仙台と今年もやるが、会長から何かあれば・

伴：災害対策の面。いつか必ずきてしまうもの。相手のまちに対する理解。電車なのか車なのか。単会同士というより知る事。自身もあるが。役員会では話をするが来たらずぐにストップしますからと。災害の対策やお互いの理解。本日は貴重なお話しをありがとうございました。また懇親会もありますので話の続きをさせてください。